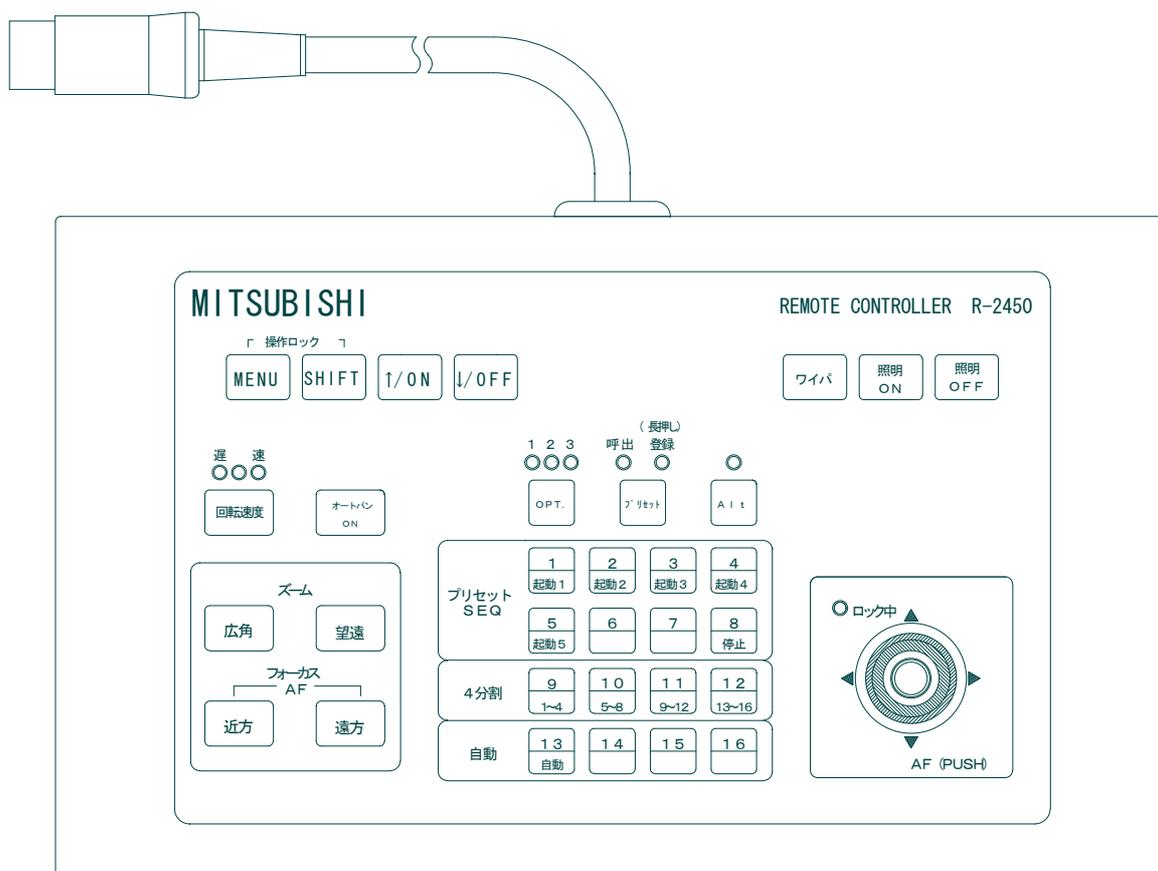


MITSUBISHI

リモートコントローラ

形名 R-2450

取扱説明書／保証書



このたびは三菱リモートコントローラをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用になる前に、正しく安全にお使い頂くため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は、この取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

SM-Y7635A

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

[もくじ]

安全のために必ずお守りください.....	3
特長.....	6
構成.....	6
接続可能カメラコントローラについて.....	6
操作上のご注意.....	6
設置上の注意.....	7
各部の名称とはたらき.....	8
接続のしかた.....	14
ケーブル延長について.....	14
操作のしかた.....	15
A F（ワンプッシュオートフォーカス）のしかた.....	15
「プリセット」キーによる操作のしかた.....	16
プリセットポジションの呼出のしかた.....	16
プリセットポジションの登録のしかた.....	16
「A I t（オルタネート）」キーによる操作のしかた.....	17
プリセットSEQの起動、停止のしかた.....	17
4分割画面表示選択、自動切換選択のしかた.....	17
「OPT.（オプション）」キーによる操作のしかた.....	18
OPT.（オプション）機能の操作のしかた.....	18
「OPT.」キーによる拡張機能一覧.....	18
ジョイスティックの操作ロック機能について.....	20
ジョイスティックPUSHによるA F操作の無効化について.....	21
ジョイスティック操作中の回転速度、レンズ操作について.....	21
通信速度の設定のしかた.....	22
お手入れのしかた.....	23
故障かな？と思ったら.....	23
仕様.....	24
外形図.....	25
保証とアフターサービス.....	26

安全のために必ずお守りください

使用上のご注意説明書

- 本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。
- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

	禁止		指示を守る
	分解禁止		電源プラグを抜く
	水場での使用禁止		

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの

万一異常が発生したら、カメラコントローラの電源プラグをすぐ抜く



煙、変な音においがするなど、異常状態のまま使わないで下さい。火災の原因となります。このようなときはすぐにカメラコントローラの電源を切り、接続ケーブルをカメラコントローラから抜いてください。異常がなくなるのを確認して販売店に修理のご依頼を。

接続ケーブルを傷つけない、加工しない



重いものをのせたり、熱器具に近づけないこと。接続ケーブルが破損します。接続ケーブルに傷がついたまま使用すると火災・感電の原因となります。接続ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災・感電の原因となります。接続ケーブルが傷んだらすぐに販売店に連絡を。

花びんやコップを本機の上や近くに置かない



内部に異物や水などが入ると、火災の原因となります。万一内部に異物や水が入ったときは、すぐに接続しているカメラコントローラの電源を切り、接続ケーブルをカメラコントローラから抜いて販売店にご連絡を。

異物をいれない



金属類や燃えやすいものなどが入ると火災の原因となります。万一異物が入ったときは、すぐに接続しているカメラコントローラの電源スイッチを切り、接続ケーブルをカメラコントローラから抜いて販売店にご連絡を。

ケースははずさない。改造しない



本機の内部にさわったり、改造すると火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼を。

雷が鳴り出したら電源プラグを抜く



早めに接続しているカメラコントローラの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

水気の多い場所では使わない



水気の多い場所での使用は、火災の原因となります。

ご使用は指定の電源電圧で



指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに
結びつく可能性のあるもの

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないこと。
またバランス良く据え付けること。落ちたり、倒れたりしてけが
の原因となります。



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財
などの損害に結びつく可能性のあるもの

次のような置きかたはしない

火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所。水、油煙のかかる所。
- あお向けや横倒し、逆さま、風通しの悪い所、狭い場所に押し込む。
- じゅうたんや布団の上に置く、テーブルクロスなどをかけて通風孔をふさぐ。
- 直射日光のあたる所や熱器具のそば。



物をのせない、踏み台にしない

本機の上に物を置かないこと。置くと
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
本機に無理な力を加えないでください。無理な力を加えるとこわれたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子さまにはご注意ください。



コネクタを持って抜く

接続ケーブルを抜くときは、接続ケーブルを
引っ張らずコネクタ部分を持って抜いて
ください。

接続ケーブルを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因となります。



移動させる場合は接続ケーブルをはずす

接続ケーブルに傷がつくと、火災・感電の原因
となることがあります。

移動させる時は接続ケーブルをカメラコントローラからはずしたことを確認してください。



国外での使用禁止

本機を使用できるのは日本国内のみです。
外国では使えません。

This equipment is designed for use in Japan only
and can not be used in any other countries.



長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

安全のため、必ず接続しているカメラ
コントローラの電源プラグをコンセントから抜いてく
ださい。



お願い

持ち運びはていねいに

本機はこわれやすいので持ち運びには十分に注意してください。

接続ケーブルやジョイスティックを持つての持ち運びは、お止め下さい。

キャビネットのお手入れは

お手入れの際は接続しているカメラコントローラの電源を切り、接続ケーブルをカメラコントローラから抜いてください。やわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼり、拭いてください。

キャビネットを傷めないために

ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因となります。

【化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。】

指定のカメラコントローラ以外は 接続しない

指定のカメラコントローラ以外に接続した場合は、故障の原因となることがあります。

使用温度範囲でご使用を

本機の使用周囲温度は-10℃～+50℃です。使用周囲温度外でご使用になると故障の原因となることがあります。

設置場所

直射日光の当たる場所や熱器具の近く等高温の場所や、調理台のそば等直接蒸気や油煙が当たる湿気の多い場所は避けて、風通しの良い場所に設置してください。また、本機をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがありますので、できるだけ離して設置してください。

特長

- カメラコントローラS-9520、マルチフレームコントローラX-9620の操作をすることが可能です。
- 複合一体型カメラのパン、チルト、ズーム、フォーカスなど基本的な操作が可能です。
- ジョイスティックにより、複合一体型カメラのパン、チルト及びワンプッシュオートフォーカス操作が可能です。
- 複合一体型カメラのプリセットポジションを各カメラ16箇所まで、登録、呼出することが可能です。
- 取り付け足を広げることにより、操作パネル面を傾斜状態にして操作することが可能です。

構成

1. リモートコントローラ本体(R-2450)----- 1台
2. 取扱説明書／保証書(本書)----- 1部

接続可能カメラコントローラについて

本リモートコントローラは以下に示すカメラコントローラが接続可能です。

- カメラコントローラ S-9520
- マルチフレームコントローラ X-9620

操作上のご注意

本機を操作する上で以下の点にご注意ください。

- 本機は、人の指以外で操作しないで下さい。

本機は、必ず人の指で操作し、必要以上に力を加えないで下さい。

特に、以下のようなことにご注意下さい。

- ・先のとがったものでキーを押すとキーシートが破損します。
- ・必要以上の力で操作するとキー、ジョイスティックが破損します。

- ジョイスティックのスティック部分は、引っ張ったり、回したりしないようにして下さい。

ジョイスティックのスティック部分は、固定されています。

スティック部分を引っ張ったり、回したりしないで下さい。部品の外れ、破損の原因となります。

特に、スティック部分を持って、本機を持ち上げないようにして下さい。

- キースイッチ、ジョイスティックは、寿命部品です。

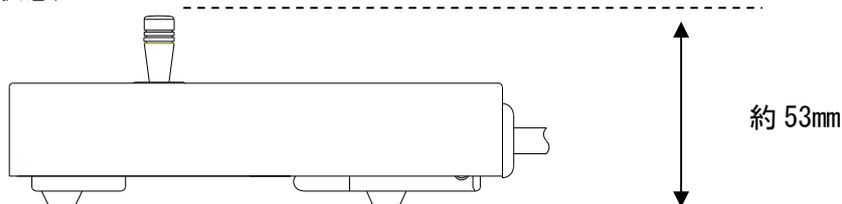
キースイッチ及びジョイスティックは、寿命部品です。部品の寿命は、使用頻度に依存しますので、必要以上にキーを押したり、ジョイスティックを動かしたりすると、早期に寿命となり、修理(部品交換)が必要となります。耐久性を考慮頂き、適時のご使用をお願い致します。なお、操作が効かない等の症状が発生した場合は、修理をご依頼下さい。

設置上の注意

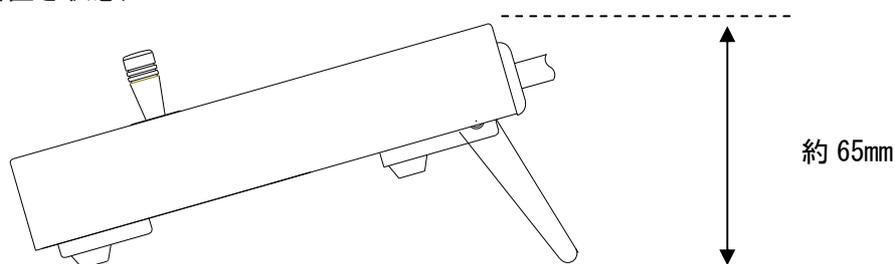
[設置について]

本機は、取り付け足を広げることにより、操作パネル面を傾斜状態にして操作することが可能です。
※傾斜角度は一定です。

(平置き状態)



(傾斜置き状態)

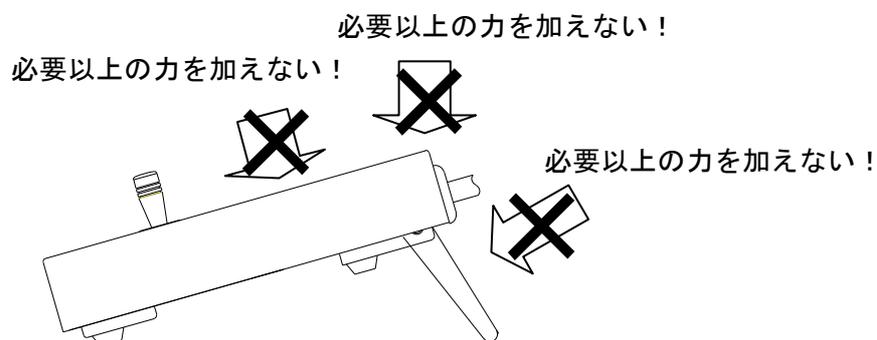


[設置上の注意]

本機を設置する上で、以下の点にご注意下さい。

- 傾斜置き状態で使用する場合は、必要以上に上から力を加えないで下さい。

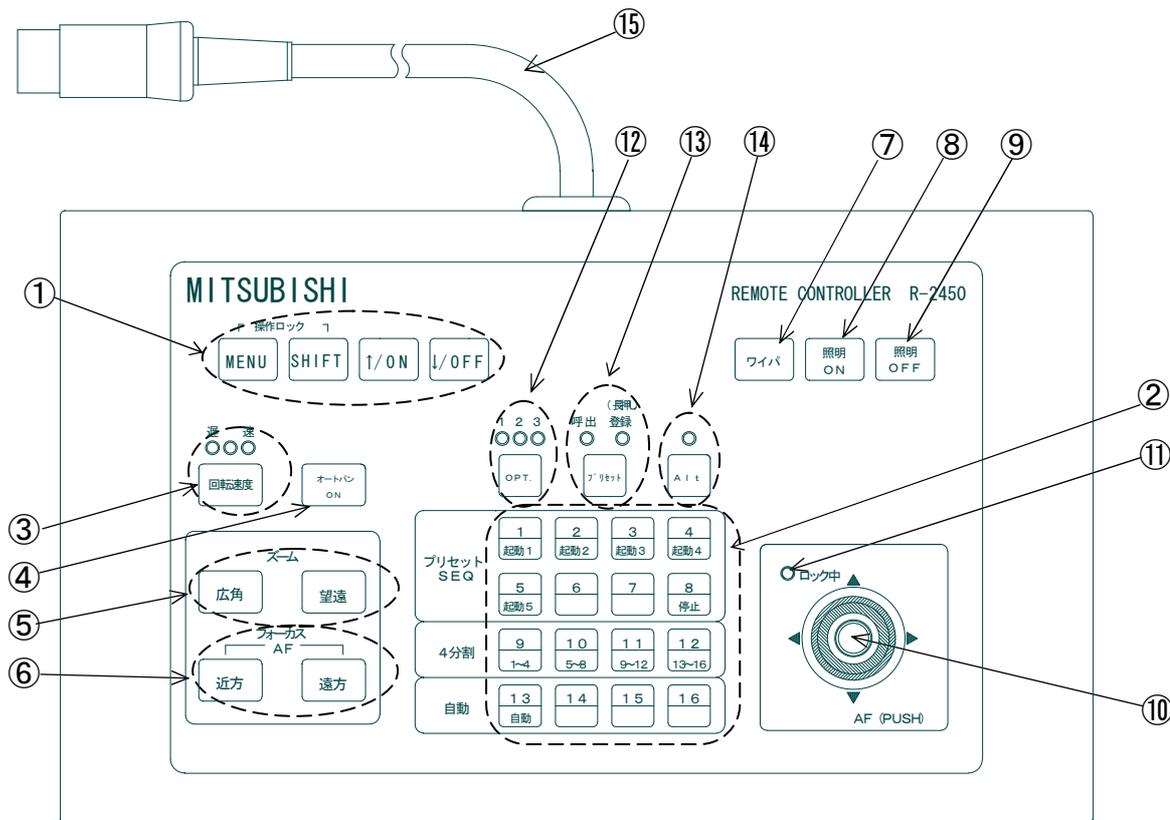
本機は、取り付け足を広げることにより、傾斜置き状態で操作が可能ですが、必要以上に力を加えると、取り付け足等が破損することがありますので、ご注意下さい。



- 安定した平らなところに設置し、使用して下さい。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置し、使用しないで下さい。
落下により、けがをしたり、本機が破損したりすることがありますので、十分ご注意下さい。

各部の名称とはたらき



① 「MENU」、「SHIFT」、「↑/ON」、「↓/OFF」キー

本機が接続されているカメラコントローラの同名のボタンと同じ働きをします。

通常、「MENU」はメニュー表示、「SHIFT」はカーソル移動、「↑/ON」、「↓/OFF」は設定変更を行います。

メニューを表示する場合及び閉じる場合は、「MENU」キーを1.2秒以上押し続けて下さい。

詳細は、接続されているカメラコントローラの取扱説明書を参照下さい。

また、「MENU」キーは、他のキーと組み合わせて使用することにより、以下の設定が可能です。

- ・ ジョイスティックの操作ロック／解除
- ・ ジョイスティック PUSH による AF (ワンプッシュオートフォーカス) 操作の有効化／無効化

詳細は、P. 20 「ジョイスティックの操作ロック機能について」、P. 21 「ジョイスティック PUSH による AF 操作の有効化について」を参照下さい。

②数字キー

このキーは、カメラ選択、数字入力、操作選択の3つの機能を持っています。

<カメラ選択>

直接数字キーを押した場合には、カメラ選択キーとして働き、選択されたカメラの映像がモニタに全画面で表示されます。

この場合、「1」～「4」キーがカメラコントローラの「1」～「4」ボタンと同様の働きをします。

また、カメラコントローラが縦続接続されているときは、以下のキーと同様の働きをします。

- ・ 「1」～「4」キー＝親機の「1」～「4」ボタン
- ・ 「5」～「8」キー＝子機1の「1」～「4」ボタン
- ・ 「9」～「12」キー＝子機2の「1」～「4」ボタン
- ・ 「13」～「16」キー＝子機3の「1」～「4」ボタン

詳細は、接続されているカメラコントローラの取扱説明書を参照下さい。

<数字入力>

「プリセット」、「OPT.」キーを押した後、本キーを押した場合には、数字入力キーとして働きます。

詳細は、P.16「「プリセット」キーによる操作のしかた」、P.18「「OPT.」キーによる操作のしかた」の説明を参照下さい。

<操作選択>

「Alt」キーを押した後、本キーを押した場合には、操作選択キーとして働きます。

「Alt」キーと同色（緑色）文字で記された数字キー下段の操作を行います。

詳細は、P.17「「Alt」キーによる操作のしかた」の説明を参照下さい。

③「回転速度」キー、LED

複合一体型カメラに対してのみ有効なキーです。

モニタに表示されているカメラの回転台を手動でパン・チルト操作するときの動作速度を選択します。このキーを押す毎に、「回転速度」LEDが「遅」側から順に1個ずつ増えていき、LEDの点灯数に合わせて、以下の通り回転速度が変化します。

LED 1個点灯時：低速

LED 2個点灯時：中速

LED 3個点灯時：高速

起動時は、低速（LED 1個点灯）になっています。

④「オートパンON」キー

複合一体型カメラに対してのみ有効なキーです。

このキーを押すと、モニタに表示されているカメラがオートパン動作を行います。

※オートパン動作を行うには、あらかじめカメラ側でのオートパンの設定が必要です。

詳細は、カメラの取扱説明書を参照下さい。

オートパン動作は、以下のいずれかの操作により停止します。

・ ジョイスティックを操作する。

・ 「OPT. 2」LED点灯中に「4」キーを押す。

詳細は、P.18「「OPT.」キーによる操作のしかた」の説明を参照下さい。

※ジョイスティック誤操作によるオートパン動作停止を防止したい場合は、操作ロック機能をご使用下さい。

⑤「広角」・「望遠」キー

ズーム機能のあるカメラに対してのみ有効なキーです。

このキーを押している間、モニタに表示されているカメラのズームレンズを操作できます。

⑥「近方」・「遠方」キー

複合一体型カメラに対してのみ有効なキーです。

このキーを押している間、モニタに表示されているカメラのフォーカス操作が行えます。

また、同時に押すことによりAF（ワンプッシュオートフォーカス）操作を行います。

AF（ワンプッシュオートフォーカス）操作後は、両キーを放した時点で、再度フォーカス操作が可能となります。

(注) キーを同時に押した後、そのままどちらかのキーを押し続けた場合、そのキーによるフォーカス操作は行いません。一度、キーを開放してから、再度フォーカス操作を行って下さい。

⑦「ワイパ」キー

複合一体型カメラに対してのみ有効なキーです。

このキーを押している間、モニタに表示されているカメラのワイパが動作します。

ワイパの詳細動作については、カメラの取扱説明書を参照下さい。

⑧「照明ON」キー

複合一体型カメラに対してのみ有効なキーです。

このキーを押すと、モニタに表示されているカメラの照明が点灯します。

⑨「照明OFF」キー

複合一体型カメラに対してのみ有効なキーです。

このキーを押すと、モニタに表示されているカメラの照明が消灯します。

- ⑩「回転台操作」ジョイスティック、「AF（ワンプッシュオートフォーカス）」キー
複合一体型カメラに対してのみ有効なキーです。
モニタに表示されているカメラの回転台を手動でパン・チルト操作するときには使用します。
また、ジョイスティックを押すことにより、AF（ワンプッシュオートフォーカス）操作が行えます。
本ジョイスティックによる操作は、誤操作防止のため、有効／無効（ロック／解除）の設定が可能です。
詳細は、P. 20「ジョイスティックの操作ロック機能について」、P. 21「ジョイスティックPUSHによるAF操作の無効化について」を参照下さい。

⑪ロック中LED

本LEDは、「MENU」キーと「SHIFT」キーを同時に押すと、点灯します。
本LED点灯中は、ジョイスティックによるパン・チルト操作は無効（ロック状態）になります。
点灯中に再度「MENU」と「SHIFT」キーを同時に押すと、本LEDは消灯し、ジョイスティック操作が有効（ロック解除）になります。
詳細は、P. 20「ジョイスティックの操作ロック機能について」を参照下さい。

⑫「OPT.（オプション）」キー、「OPT. 1」、「OPT. 2」、「OPT. 3」LED
拡張機能用のキーです。

このキーを押すと、LEDが「OPT. 1」⇒「OPT. 2」⇒「OPT. 3」の順に点灯します。

いずれかのLEDが点灯中に数字キーを押すと、該当する拡張機能が動作します。

詳細は、P. 18「「OPT.」キーによる操作のしかた」の説明を参照下さい。

また、点灯中の各LEDは以下の場合、消灯します。

- ・ 数字キーを押した場合（操作を実行します。）
- ・ LED点灯後、約60秒間、数字キーを選択しなかった場合（操作をキャンセルします。）
- ・ 数字キー以外を押した場合（操作をキャンセルします。）
- ・ 「OPT. 3」LED点灯中に再度「OPT.」キーを押した場合（操作をキャンセルします。）

⑬ 「プリセット」キー、「呼出」LED、「登録」LED

複合一体型カメラに対してのみ有効なキーです。

本キーを押すと、「呼出」LEDが点灯します。

さらに3秒以上押しつづけると、「呼出」LEDが消灯し、「登録」LEDが点灯します。

詳細は、P.16「「プリセット」キーによる操作のしかた」の説明を参照下さい。

また、点灯中の各LEDは以下の場合、消灯します。

- ・ 数字キーを押した場合（操作を実行します。）
- ・ LED点灯後、約60秒間、数字キーを選択しなかった場合（操作をキャンセルします。）
- ・ 数字キー以外を押した場合（操作をキャンセルします。）
- ・ 再度「プリセット」キーを押した場合（操作をキャンセルします。）

<プリセット呼出>

「呼出」LEDが点灯中、数字キーを押すと、モニタに表示されているカメラのプリセット位置を選択します。

<プリセット登録>

「登録」LEDが点灯中、数字キーを押すと、モニタに表示されているカメラの現在の位置が指定のプリセット番号に登録されます。

⑭ 「Alt（オルタネート）」キー、LED

本キーを押すとキー上のLEDが点灯します。

LED点灯中に、数字キーを押すと、「Alt」キーと同色（緑色）文字で記された数字キー下段の操作を行います。

詳細は、P.17「「Alt」キーによる操作のしかた」の説明を参照下さい。

<プリセットSEQ（シーケンス）起動／停止>

プリセットSEQ（スムーズプリセット）機能を持った複合一体型カメラ（例：CIT-7500）使用時に有効なキーです。

「Alt」LED点灯中に、「起動1」～「起動5」キー（数字キー下段表示）を押すと、モニタに表示されているカメラのプリセットSEQが起動します。

※プリセットSEQを行うには、あらかじめカメラ側でのプリセットポジション、SEQ設定が必要です。

「Alt」LED点灯中に、「停止」キー（数字キー下段表示）を押すと、モニタに表示されているカメラのプリセットSEQが停止します。

プリセットSEQ動作は、ジョイスティックを操作することでも停止します。

<4分割画面選択>

4分割画面表示機能が搭載されているカメラコントローラ（例：X-9620）使用時に有効なキーです。

「Alt」LED点灯中に、「1～4」～「13～16」キー（数字キー下段表示）を押すと、本機が接続されているカメラコントローラの「4分割」ボタンと同様の働きをします。また、4分割画面表示機能搭載のカメラコントローラが縦続接続されているときは、以下のキーと同様の働きをします。

- ・「1-4」キー＝親機の「4分割」ボタン
- ・「5-8」キー＝子機1の「4分割」ボタン
- ・「9-12」キー＝子機2の「4分割」ボタン
- ・「13-16」キー＝子機3の「4分割」ボタン

詳細は接続されているカメラコントローラ取扱説明書を参照下さい。

<自動切替操作>

「Alt」LED点灯中に、「自動」キー（数字キー下段表示）を押すと、本機が接続されているカメラコントローラの「自動」ボタンと同様の働きをします。

詳細は接続されているカメラコントローラ取扱説明書を参照下さい。

また、点灯中のLEDは以下の場合、消灯します。

- ・ 数字キーを押した場合（操作を実行します。）
- ・ LED点灯後、約60秒間、数字キーを選択しなかった場合（操作をキャンセルします。）
- ・ 数字キー以外を押した場合（操作をキャンセルします。）
- ・ 再度「Alt」キーを押した場合（操作をキャンセルします。）

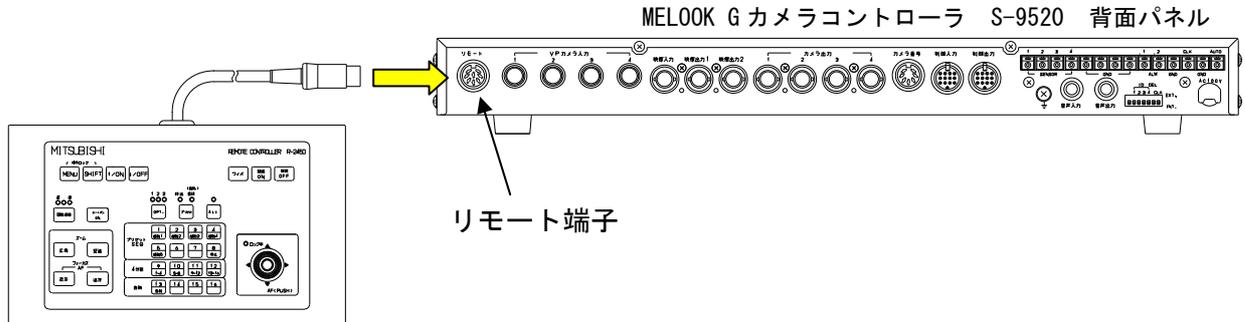
⑮接続ケーブル

カメラコントローラへ接続するケーブルです。

接続のしかた

本機をカメラコントローラ背面のリモート端子に接続します。

[カメラコントローラ S-9520と接続する場合]



コネクタのピンアサイン

リモートコントローラR-2450の接続ケーブルのコネクタピンアサインは、以下の通りとなっています。

コネクタピンアサイン		DINコネクタ 8ピン (R-2450コネクタ)
1	電源 (+5V)	
2	TxD	
3	RxD	
4	RTS	
5	CTS	
6	DSR	
7	シグナルGND	
8	DTR	
シールド	フレームGND	

RS232C : START/STOP 1ビット、パリティ無し、データ8ビット、最大 : 9600bps
 コマンド I/F : カメラコントローラの取扱説明書を参照して下さい。

(使用コネクタ)

本機側プラグ : ホシデン製 TCS1397-71-5011

カメラコントローラ側ジャック : WAKA製 08J0088

又は、ホシデン製 TCS4480-01-4051

ケーブル延長について

本機に接続されているケーブルの長さは、3mです。他の機器との接続等でケーブルを延長する場合は必ず10m以下にしてください。

(参考)

中継用ソケット : ホシデン製 TCS8597-01-7021

ケーブル : 立井電線製 TKVBS8C-03T (外径7.0mm)

操作のしかた

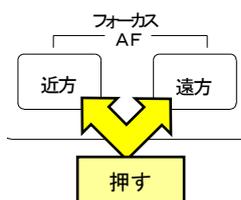
A F（ワンプッシュオートフォーカス）のしかた

以下のいずれかの操作で、A F（ワンプッシュオートフォーカス）操作が行えます。

（注）A F（ワンプッシュオートフォーカス）操作によるコマンドは、押した時に1回のみ送出されます。押し続けても連続して送出されません。

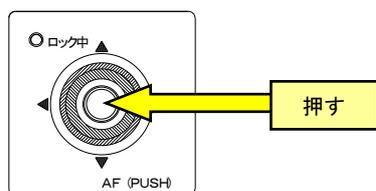
（操作のしかた1）

フォーカス「遠方」「近方」キーを同時に押します。



（操作のしかた2）

ジョイスティックを押します。



※ジョイスティックを傾けた状態では、押すことは出来ません。

（操作のしかた3）

OPT. 1点灯中に「3」キーを押します。

詳細は、P18「OPT.」キーによる操作のしかたの説明を参照下さい。



「プリセット」キーによる操作のしかた

プリセットポジションの呼出のしかた

- ①「プリセット」キーを押し、呼出LEDを点灯させます。
- ②呼出LED点灯中に、呼び出したいプリセットポジションを数字キーを押し、選択します。
- ③カメラがプリセットポジションに移動し、呼出LEDが消灯します。

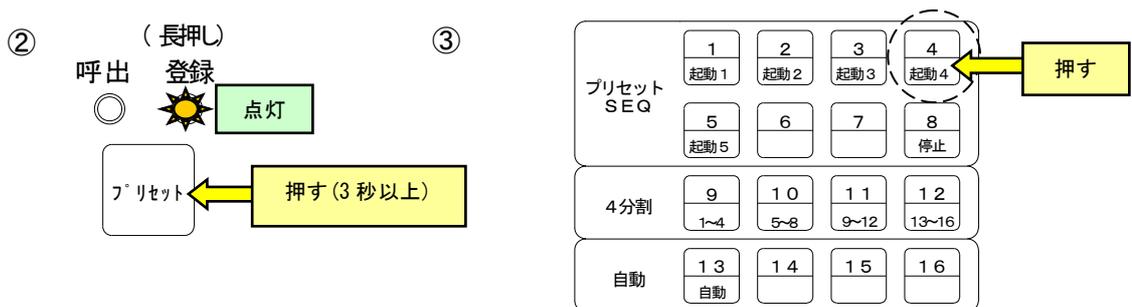
(操作例) プリセットポジション“4”を呼び出したいとき



プリセットポジションの登録のしかた

- ①カメラの回転台、レンズを操作し、登録したいプリセットポジションにカメラを移動します。
- ②「プリセット」キーを3秒以上長押しして、登録LEDを点灯させます。
(LEDは、呼出LEDが点灯⇒消灯後、登録LEDが点灯します。)
- ③登録LED点灯中に、登録したいプリセットポジション番号を数字キーを押し、選択します。
- ④プリセットポジションが登録され、登録LEDが消灯します。

(操作例) プリセットポジション“4”に登録したいとき



※本装置では、各カメラ16ポジションまで、プリセットポジションの呼出、登録が可能です。

「Alt（オルタネート）」キーによる操作のしかた

プリセットSEQの起動、停止のしかた

- ① 「Alt」キーを押し、「Alt」のLEDを点灯させます。
（「Alt」LED点灯中は、数字キー下段に表示された操作を行います。）
- ② 「Alt」LED点灯中に、以下の通り、該当キーを押します。
プリセットSEQを起動する場合：「起動1」～「起動5」キーから選択し、キーを押します。
プリセットSEQを停止する場合：「停止」キーを押します。
- ③ 「Alt」LEDが消灯し、選択されたプリセットSEQが起動します。

（操作例）プリセットSEQ 4 を起動したいとき



4分割画面表示選択、自動切換選択のしかた

- ① 「Alt」キーを押し、「Alt」のLEDを点灯させます。
（「Alt」LED点灯中は、数字キー下段に表示された操作を行います。）
- ② 「Alt」LED点灯中に、モニタの画面表示を4分割「1～4」～「13～16」、「自動」から選択し、キーを押します。
- ③ 「Alt」LEDが消灯し、選択された画面表示に切り換ります。

（操作例）カメラ13～16（子機3のカメラ）を4分割画面で表示したいとき

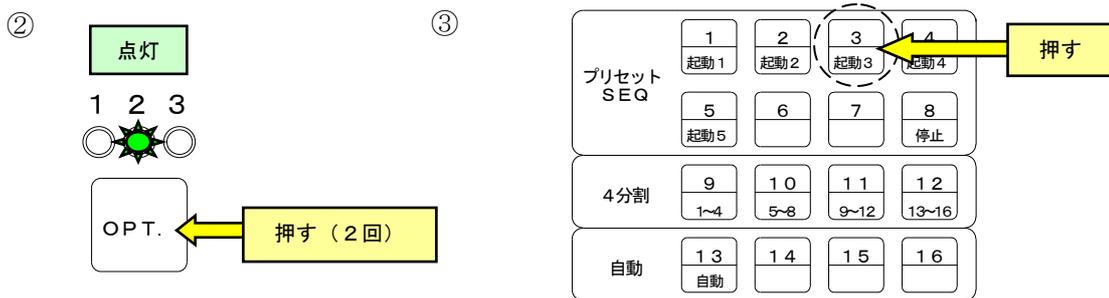


「OPT. (オプション)」キーによる操作のしかた

OPT. (オプション) 機能の操作のしかた

- ①「OPT.」キーを押すと、押す毎に、LEDが「OPT. 1」、「OPT. 2」、「OPT. 3」の順に点灯します。
- ②該当「OPT.」LEDを点灯させます。
- ③該当「OPT.」LED点灯中に、該当数字キーを選択します。
- ④「OPT.」LEDが消灯し、選択した機能が動作します。

(操作例) オートパン動作を開始したいとき



「OPT.」キーによる拡張機能一覧

以下は、「OPT.」キー操作に割り当てられた拡張機能です。(2004年11月現在)
カメラによっては、該当機能を搭載していない場合もありますので、あらかじめカメラの機能を確認しておくようにして下さい。(カメラに該当機能がない場合は、動作しません。)

(1) 「OPT. 1」点灯中、数字キー「1」～「16」を押した場合

キー操作	機能	備考
OPT1+1	カメラ照明ON	*1、*2
OPT1+2	カメラ照明OFF	*1、*2
OPT1+3	ワンタッチAF ON	
OPT1+4	機能無し	
OPT1+5	機能無し	
OPT1+6	機能無し	
OPT1+7	機能無し	
OPT1+8	機能無し	
OPT1+9	白黒/カラー切換 白黒モード	*1
OPT1+10	白黒/カラー切換 カラーモード	*1
OPT1+11	白黒/カラー切換 AUTO1 モード	*1、*3
OPT1+12	白黒/カラー切換 AUTO2 モード	*1、*3
OPT1+13	機能無し	
OPT1+14	機能無し	
OPT1+15	機能無し	
OPT1+16	機能無し	

*1 カメラ切換操作を行っても設定された動作状態を保持します。

例：カメラ1に対して照明ONコマンドを送り、カメラ2に映像を切り替えても、カメラ1照明はONのままです。

*2 カメラコントローラ電源投入時、または電源瞬断等による再投入時は、OFFとなります。

*3 カメラのAUTOモードが1モードのみの場合は、AUTO1、AUTO2による操作は、同じ動作となります。

(2) 「OPT. 2」点灯中、数字キー「1」～「16」を押した場合

キー操作	機能	備考
OPT2+1	カメラ電源ON	*1
OPT2+2	カメラ電源OFF	*1
OPT2+3	オートパンON	*1、*2
OPT2+4	オートパンOFF	*1、*2
OPT2+5	Reserved	
OPT2+6	Reserved	
OPT2+7	スーパーファインビュー ON	*1
OPT2+8	スーパーファインビュー OFF	*1
OPT2+9	機能無し	
OPT2+10	機能無し	
OPT2+11	機能無し	
OPT2+12	機能無し	
OPT2+13	機能無し	
OPT2+14	機能無し	
OPT2+15	機能無し	
OPT2+16	機能無し	

*1 カメラ切換操作をおこなっても設定された動作状態を保持します。

例：カメラ1に対して照明ONコマンドを送り、カメラ2に映像を切り替えても、カメラ1照明はONのままです。

*2 カメラコントローラ電源投入時、または電源瞬断等による再投入時は、OFFとなります。

(3) 「OPT. 3」点灯中、数字キー「1」～「16」を押した場合

キー操作	機能	備考
OPT3+1	リセットシーケンス1 起動	*1
OPT3+2	リセットシーケンス2 起動	*1
OPT3+3	リセットシーケンス3 起動	*1
OPT3+4	リセットシーケンス4 起動	*1
OPT3+5	リセットシーケンス5 起動	*1
OPT3+6	機能無し	
OPT3+7	機能無し	
OPT3+8	リセットシーケンス停止	*1
OPT3+9	機能無し	
OPT3+10	機能無し	
OPT3+11	機能無し	
OPT3+12	機能無し	
OPT3+13	機能無し	
OPT3+14	機能無し	
OPT3+15	機能無し	
OPT3+16	機能無し	

*1 カメラ切換操作をおこなっても設定された動作状態を保持します。

例：カメラ1に対して照明ONコマンドを送り、カメラ2に映像を切り替えても、カメラ1照明はONのままです。

ジョイスティックの操作ロック機能について

自動旋回動作（オートパン、プリセットSEQ）中のカメラは、ジョイスティックを操作することにより停止し、ジョイスティックによる手動動作に切り替わります。

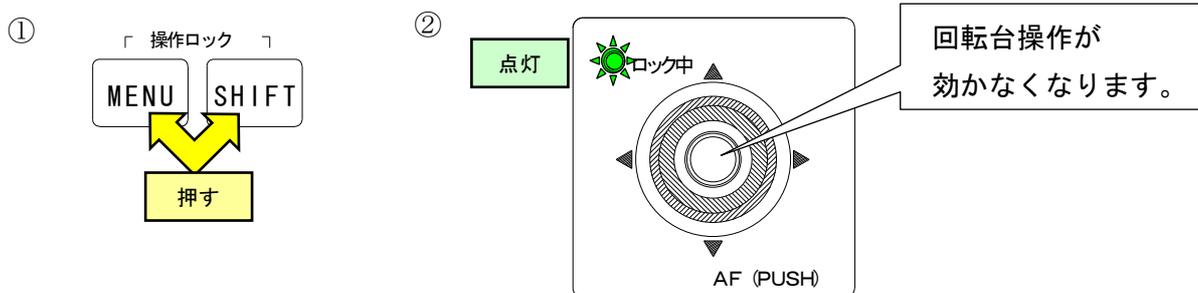
本機は、誤ったジョイスティック操作により、自動旋回動作が停止してしまうのを防止するため、ジョイスティックの操作ロック機能を備えています。

ジョイスティックの操作ロックにより、回転台のパン／チルト操作が行えなくなります。

ジョイスティックの操作ロック及び解除のしかたは以下の通りです。

ジョイスティックの操作ロックのしかた

- ①「MENU」と「SHIFT」キーを同時に押します。
- ②ジョイスティック左上部の「ロック中」LEDが点灯し、ジョイスティックによるパン・チルト操作がロック状態になります。



ジョイスティックの操作ロック解除のしかた

- ①ジョイスティック左上部の「ロック中」LEDが点灯中に、再度「MENU」と「SHIFT」キーを同時に押します。
- ②ジョイスティック左上部の「ロック中」LEDが消灯し、ジョイスティックの操作ロックが解除されます。

ジョイスティックPUSHによるAF操作の無効化について

本機は、ジョイスティックをPUSHすることにより、AF（ワンプッシュオートフォーカス）操作が行えます。

本キーによるAF（ワンプッシュオートフォーカス）操作を行いたくない場合は、以下の操作により、無効にすることが可能です。

初期設定では、有効になっています。

ジョイスティックPUSHによるAF操作の無効化のしかた

- ①「MENU」キーを押した後、1. 2秒以内に「↓/OFF」キーを押します。
- ②ジョイスティックPUSHによるAF操作が無効になります。

ジョイスティックPUSHによるAF操作の有効化のしかた

- ①「MENU」キーを押した後、1. 2秒以内に「↑/ON」キーを押します。
- ②ジョイスティックPUSHによるAF操作が有効になります。

※「MENU」キーを押した後、1. 2秒以上経過すると、モニタ上にメニュー画面が表示されますので、その前に該当キーを押すようにして下さい。

ジョイスティック操作中の回転速度、レンズ操作について

回転台操作中の回転速度変更

ジョイスティックにて回転台操作中に「回転台速度」キーを押すことにより、回転台操作中の回転速度変更が可能です。

※但し、回転速度の変更は、低速⇒中速⇒高速⇒低速⇒・・・の順のみとなります。
高速⇒中速⇒低速の順には変更できません。

回転台操作中のレンズズーム操作

ジョイスティックにて回転台操作中に「広角」・「望遠」キーを押すことにより、回転台操作中のレンズズーム操作が可能です。

回転台操作中のレンズフォーカス操作

ジョイスティックにて回転台操作中に「遠方」・「近方」キーを押すことにより、回転台操作中のレンズフォーカス操作が可能です。

※但し、AF（ワンプッシュオートフォーカス）操作は行えません。

通信速度の設定のしかた

本機は、9600bps/2400bps/1200bps から通信速度を選択することが可能です。

初期値は、通信速度=9600bps となっています。

通常、カメラコントローラと接続する場合は、通信速度=9600bps でご使用下さい。

通信速度を変更して、ご使用になる場合は、以下の操作手順にて変更を行って下さい。

通信速度の設定のしかた

1. 「MENU」、「↓/OFF」、「照明OFF」の3つのキーを同時に押します。
2. 同時に押すと、「OPT.」LEDのいずれかが点灯します。
3. 点灯したLEDが、現在の通信速度を示しています。
「OPT. 1」LEDが点灯した場合・・・通信速度=9600bps（初期値）
「OPT. 2」LEDが点灯した場合・・・通信速度=2400bps
「OPT. 3」LEDが点灯した場合・・・通信速度=1200bps
4. そのまま3つのキーを押し続けると、LEDの点灯位置が約3秒毎に「OPT. 1」→「OPT. 2」→「OPT. 3」→「OPT. 1」と順に移動します。
5. 設定したい通信速度に該当するLEDが点灯中、キーを離すとその速度に設定されます。
6. 設定内容は、電源再投入（カメラコントローラの電源を再投入）後に反映され、以降設定を変更するまで保持されます。

お手入れのしかた

- 接続しているカメラコントローラの電源を切り、接続ケーブルをカメラコントローラから抜いて、お手入れをしてください。
- 汚れがひどいときは、水で十分うすめた中性洗剤で拭いてください。
- 水をかけないでください。内部に水が入り、故障の原因になります。

故障かな？と思ったら

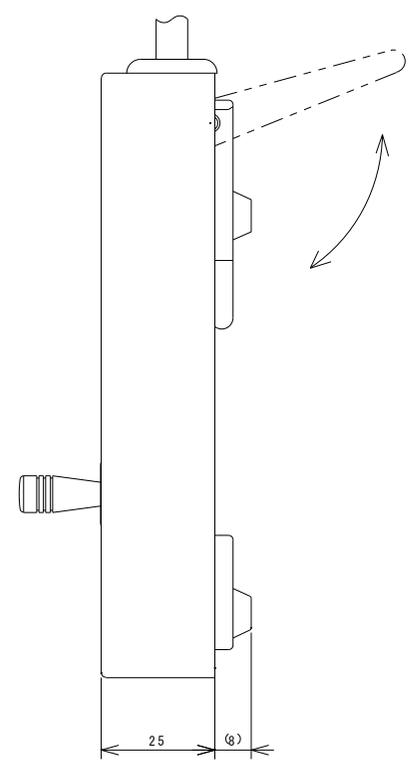
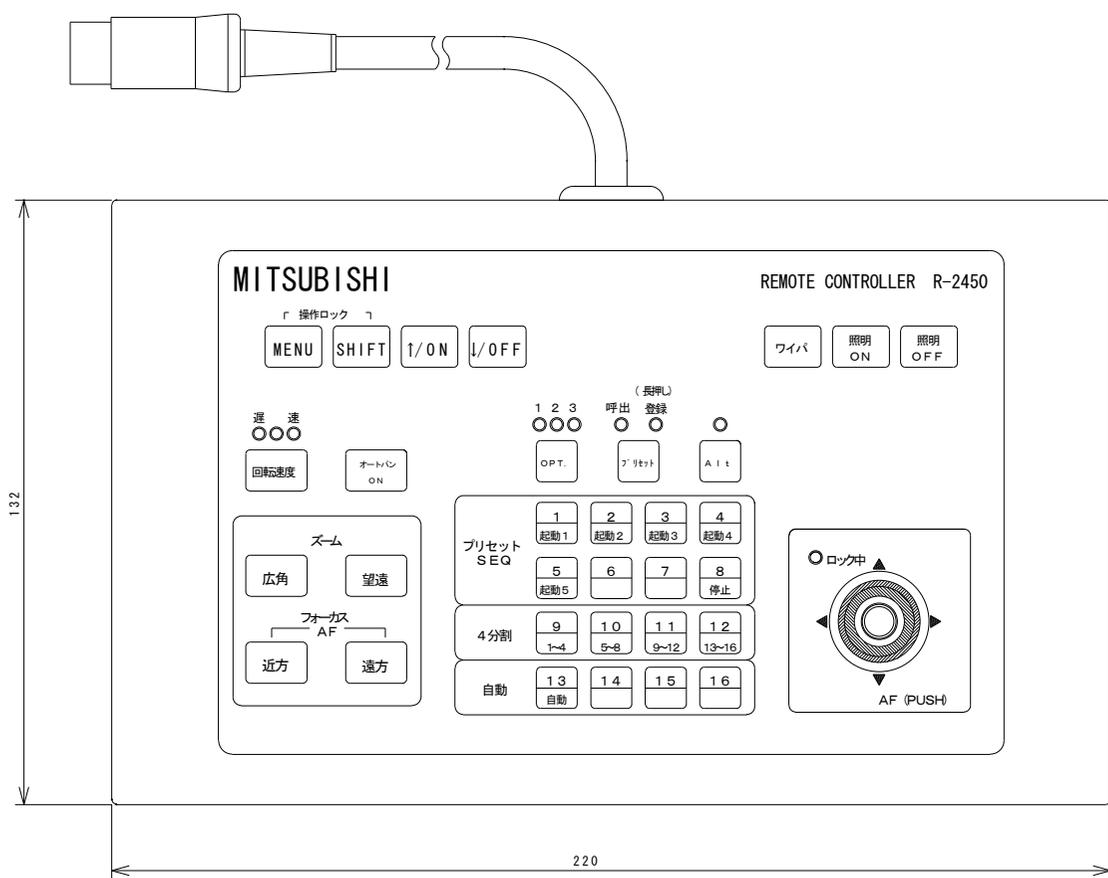
下記の点をもう一度お確かめください。お確かめの結果、なお異常のある場合は接続しているカメラコントローラの電源を切り、接続ケーブルをカメラコントローラから抜いてから、サービスをお申しつけください。

- 接続ケーブルは、カメラコントローラに正しく接続されていますか？
- 接続しているカメラコントローラの電源は「入」になっていますか？
- 操作しようとしているカメラを選択していますか？
- 通信速度は、正しく設定されていますか？
- ジョイスティックによる操作がロック状態（無効）になっていませんか？

仕様

- 1) 外部インターフェース カメラコントローラの専用 I / F に接続
D I N 8 極、通信速度 : 9600bps/2400bps/1200bps
- 2) 機能
 - ①カメラコントローラ制御 S-9520/X-9620 の全ファンクションを操作可能
 - ②カメラ選択 最大 16 カメラより直接選択可能
 - ③カメラ制御 複合一体カメラの制御が可能
 - ④4画面選択 X-9620 縦続接続 4 台の 4 分割画面選択可能
 - ⑤プリセット カメラ毎に最大 16 ポジションまで登録呼出可能
- 3) 周囲温度湿度 - 10℃ ~ 50℃ 80%RH 以下 (結露無き事)
- 4) 電源 DC 5V (カメラコントローラより供給)
- 5) 外形寸法 220 (W) × 25 (H) × 132 (D) mm 突起部除く
- 6) 質量 約 1.3kg
- 7) 塗装色 マンセル 5.4Y7.2/0.5 (5分ツヤ) 相当
- 8) 接続ケーブル 本体直付け。長さ 3m。
- 9) 付属品 取扱説明書 / 保証書 1冊

外形図



25

単位 [mm]

保証とアフターサービス

1. 裏表紙の保証書は、販売店が所定事項を記入後お渡ししますので、お受け取りの際は〔保証期間〕、〔販売店〕をご確認の上、大切に保管してください。
2. 無償修理規定
 - (1) 保証期間内（お買上げ日より1年間）に正常なる使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
 - (2) 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。
 - ① ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ② 火災、地震、水害、塩害、異常電圧、指定外の使用電源、およびその他、天災地変などによる故障および損傷。
 - ③ 特殊環境（たとえば極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など）による故障および損傷。
 - ④ 本書のご提示がない場合。
 - ⑤ 本書の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ⑥ 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN)
3. 補修用性能部品の保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は7年です。（性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品です。）詳しくはお求めの販売店にご相談ください。

保証書

形名	R-2450	製造番号	
お客様	お名前 様		
	ご住所 〒		
	TEL		
保証期間	年 月 日から 1年間 ※	※販売店住所・店名	印 または サイン
		TEL ()	

この製品は厳密な品質管理のもとで製品検査に合格したものです。お客様の正常な使用状態において万一故障した場合には、保障規定に基づきサービスセンターが修理いたしますので本書を提示してください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。お問い合わせは、保証書に記載の販売店へどうぞ。



三菱電機株式会社

コミュニケーション・ネットワーク製作所
郡山工場

〒963-8586 福島県郡山市栄町2番25号

TEL (024) 932-1220 (大代表)